

事務事業名	道の駅しらね維持管理事業		所属部局	農林商工部		単位番号	6131	
			所属課室	観光商工課		課長名	塚原浩二	
	☐ 実施計画事業		所属担当	観光担当		担当者名	三井孝司	
基本政策	基本計画	Ⅱ にぎわいと活力あふれる都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目
政策	計画	09 地域資源を活かした観光の振興	事業区分	01	一般	07	10	03
施策	体系	16 観光基盤の整備						
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 H15 年度)		法令根拠	なし				
	☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)							
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			事業費の主な内訳 (22年度)				
	・南アルプス市内の観光拠点として、道の駅しらねの施設維持管理を図る事業。			項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円)				
	・今後についても、同様に継続していく。			臨時職員賃金 1,808 施設維持管理委託料 145				
				消耗品費 335 その他委託料 983				
				光熱水費 1,680 使用料 168				
				修繕費 119				
				手数料 305 計 5,543				

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	
22年度活動実績	道の駅しらね維持管理事業
23年度活動予定	道の駅しらね維持管理事業
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
道の駅しらねの施設	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	
市内観光の拠点施設として利用者が安心して利用できる状態を保つ	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
市内観光施設の充実を図る	

⇒ ⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア「利用者数」	人
イ	
ウ	
⇒ ⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア「利用者数」	人
イ	
ウ	
⇒ ⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア「苦情件数」	件
イ	
ウ	
⇒ ⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア「道の駅しらね利用者の満足度」	%
イ	

(2) 事業費・指標の推移

(2) 事業費・指標の推移				単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算見込・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円		305	377	300	300	300	
			一般財源	千円	5,397	5,238	5,734	5,723	5,723	5,723	
		事業費計 (A)	千円	5,397	5,543	6,111	6,023	6,023	6,023	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1			
		延べ業務時間	時間	24	24	24	24	24			
		人件費計 (B)	千円	107	107	95	95	95	0	0	
		(A)+(B)	千円	5,504	5,650	6,206	6,118	6,118	6,023	0	
活動指標			人	76,303.0	73,132.0						
対象指標			人	76,303.0	73,132.0						
成果指標			件	2.0	2.0						
上位成果指標			%								

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	市内観光の拠点施設として、平成15年3月に供用開始された
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	世界的な経済危機による景気衰退の影響により、観光客の減少傾向が見られる中で、中国を中心としたアジア諸国の経済発展による外国人(アジア系)観光客の増加がある。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	新しい観光協会の設立に伴い、観光協会が移転した道の駅の維持管理について観光協会に手助けを願いたい。もともと県の施設であることから、県に帰すべきとの意見がある。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	☐ 取り組みしている ⇒【内容!】 ☒ 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	南アルプス市観光協会の事務所としての活用。
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	移転する観光協会との協議

事務事業名	道の駅しらね維持管理事業	所属部	農林商工部	所属課	観光商工課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由↓】 山梨県との管理協定に伴い、市が管理運営を行なっている。	
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由↓】 市内観光振興施策の一環として重要な観光拠点施設と位置づけられる。	
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒【理由↓】 観光協会が当該施設から移転した事により、道を挟んで同一目的の施設が存在する事になったため、見直す余地もある。	
有効性 評価	④成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由↓】 施設を維持するために、最低現必要な経費である。	
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) ☐ 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 ☒ 類似事務事業がない	
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<table border="1"> <tr> <td> ☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 観光協会が移転した事により、従前と比較して影響は少ないが、利用者からの苦情がある。 </td> <td> ☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 山梨県との協定がある。 </td> </tr> </table>	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 観光協会が移転した事により、従前と比較して影響は少ないが、利用者からの苦情がある。
☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 観光協会が移転した事により、従前と比較して影響は少ないが、利用者からの苦情がある。	☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 山梨県との協定がある。		
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 施設維持管理に最低現必要な経費であるため。	
	⑧人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 事務的事业であり、最小の人員で対応していることから、削減の余地はない。	
公平性 評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由↓】 特定の団体及び個人を対象とした事業ではない。	

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
①目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ②有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	観光事業の推進として、観光拠点である本事業の必要性は高い。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
☐ 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善(公平性⑨の結果) ☐ 休止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上(有効性④の結果) ☒ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td>☐</td> <td>☐</td> <td>☐</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>☐</td> <td>☒</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td>☐</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	☐	☐	☐																		
	維持	☐	☒																			
	低下	☐																				
(2) 改革改善案について																						
① ② ③																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果																					
① ② ③	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑥</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑩	コスト削減優先度評価結果	⑥																	
成果優先度評価結果	⑩																					
コスト削減優先度評価結果	⑥																					